

第 43 回東京モーターショー2013
アイシングループ・プレスカンファレンス

アイシン精機株式会社
取締役社長 藤森文雄

皆様、こんにちは。アイシン精機の藤森でございます。本日はお忙しい中、アイシングループブースにご来場いただき誠にありがとうございます。

現在、私どもアイシングループは、世界 20 カ国、179 社で展開しています。今回は、その核となる 6 社で共同出展しております。自動車に携わるそれぞれの分野でトップクラスを誇る企業集団、それが我々アイシングループです。

はじめに、アイシングループの最新技術を搭載したデモンストレーションカーを紹介します。このデモカーでは、「燃費向上」「安全・安心」「快適・利便」の 3 つのテーマで最新技術を紹介しています。

「燃費向上」の分野では、トランスミッション、電動オイルポンプ、グリルシャッターなど、「安全・安心」の分野では、アクティブ リア ステアリング、横滑り防止装置、体重検知センサなど、快適・利便性では、サンルーフ、カーナビゲーションなどを紹介しています。さらにこれらを支える素材・工法として構造用接着剤やダイクエンチ工法による強度部材などがあります。

このように車に、関する幅広い分野を網羅しているのがアイシングループです。グループの総合力でお客様に新しいシステム商品をご提供しています。

アイシングループの歴史を振り返りながら代表商品を紹介します。

オートマチックトランスミッションが日本で初めて開発されたのは、今から約 50 年前です。これを搭載した車がスタンダードとなる時代をいち早く予想し、欧米から技術を導入するために合弁会社として設立されたのが、当時のアイシン・ワーナー、現在のアイシン・エイ・ダブリュです。同社初の 3 速 A T、03-55 からはじまり、

4 速、5 速、6 速と多段化開発を経て、2012 年には世界で初の F F 8 速 A Tを開発いたしました。こうした先進的な技術開発と、一貫した品質への取り組みが評価され、今では世界 43 社とお取引させていただく、オートマチックトランスミッションの世界シェアナンバーワンメーカーに成長しました。

一方、ヨーロッパは、現在もマニュアルトランスミッションを搭載した車の比率が非常に高く、また、自動車市場の成長が著しい新興国でもマニュアル車が人気です。我々、アイシングループは、マニュアルトランスミッション、オートマチックトランスミッション、C V Tなどフルラインで提供しています。

あちらのハイブリッドコーナーをご覧ください。このコーナーでは、ハイブリッド車に貢献しているアイシングループの数々の技術を紹介しております。代表的な 3 つの商品をご紹介します。

その一つ、ハイブリッドトランスミッションは、高効率、軽量コンパクト化で、従来品に比べ燃費を 20%以上向上させました。回生協調ブレーキは、回生エネルギーを最大限に回収するために、ハイブリッドシステムと協調制御を行い、回生ブレーキの変化に応じて油圧を制御します。1997 年に世界初の技術として量産化して以来、より高効率でコンパクトなシステムへとへと進化させています。

また、エンジン冷却用電動ウォーターポンプは、エンジンの運転状況に応じ自由に冷却水量が設定できるため、エンジンの冷却を、より最適に近い状態にコントロールすることが可能となりました。これによりウォーターポンプを駆動するためにエンジンにかかっていた負荷も軽減でき、2%の燃費向上に貢献しています。エンジン冷却用電動ウォーターポンプは、プリウスほか、アクア、アコード、フィットなどハイブリッドに欠かせない商品として採用いただいております。

ご覧いただいたハイブリッドシステムのように、エンジンシステム、駆動システムのパワートイレイン全体で、高効率で低燃費なシステム開発ができるのがアイシングループの強みです。

さらに「お客様の嬉しさ」を追求した商品開発もすすめています。例えば、「パワ

ースライドドア」です。2001 年に開発したパワースライドドアは、室内空間を確保するために駆動ユニットをドア内に組み組むという新たなアイデアが競争力となりました。より小型化、軽量化を進め、お客様の利便性が向上し、多くの車種に採用いただける商品にまで成長しました。ミニバンや日本ならではの規格である軽自動車、パワースライドドアの市場も伸びております。当社のパワースライドドアの国内シェアは約 80%で、さらにグローバルシェアは 50%となっています。海外への展開については、すでに受注が決まるなど、海外展開にも力を入れています。

さて、2020 年には、ここ東京でオリンピックが開催されます。今後、開催に向けて、競技場や交通網などの整備が一気に進み、街も大きく様変わりしていくことでしょう。クルマの分野においても新たな技術「高度な運転支援システム」への期待が高まっています。私たちアイシングループは、その期待に応える技術を着実に現実のものにしています。アイシングループの「安全・安心」への取り組みを紹介します。

2003 年に開発したインテリジェントパーキングアシストは、後方カメラの映像で駐車したい場所を確定すると、ドライバーはハンドルに手を添え、ブレーキで速度調節を行うだけで駐車が可能となる機能です。さらに我々はこれを進化させ、完全な自動駐車としてドライバーがハンドルやブレーキなどを操作することなく駐車ができる「自動駐車システム」の開発をすすめています。高齢ドライバーが増える中、加齢による身体機能の低下によって、ハンドルやブレーキ操作が遅れて事故を起こすケースが増えています。我々は、誰もが安全・安心で快適にお使いいただけるシステム開発をすすめています。

さらにアイシングループが目指す安全・安心に向けた取り組みをあちらのドライビングシミュレーターで紹介しています。そのいくつかをご紹介します。

例えば、

- ① 雨や霧でレーンや前方車両が見にくいとき、運転に必要な情報をフロントガラスに表示するバーチャルガイド機能
- ② わき見や飛び出しなどの危険を察知し、警報を出すとともに自動ブレーキなどで

未然に回避できる機能

- ③ ドライバーの意思を汲み取り、先回りした駐車場の予約や、好みに合わせた店舗情報のお知らせなどを行うエージェント機能

このようなアイシングループが持つ技術を結集し、人にやさしいモビリティに貢献できる商品を提供していきます。

私たちアイシングループは、「品質至上」を基本理念とし、今では世界第5位の自動車部品サプライヤーに成長いたしました。再来年、2015年には、アイシングループが誕生して50年を迎えます。我々アイシングループが「お客様に喜ばれる」商品をお届けする姿勢は、今も昔もそしてこれからも・・・まったく変わりはありません。

そして、私たちは常に世界中の皆様から「かけがいのないグローバルパートナー」と呼ばれる企業を目指していきます。

これからのアイシングループにぜひ、ご期待ください。

ご清聴ありがとうございました。

以上